

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月11日
事業名	防犯団体・関係機関連絡調整事業	担当課・係名	町民課 町民協働係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	22
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	各防犯団体と連携した防犯活動の実施。防犯関係団体に対する補助金の交付。				
対象 (誰を・何を)	啓発活動：全町民対象 補助金の交付：大磯二宮地区暴力団排除対策推進協議会、大磯町防犯協会				
内容	防犯関係団体に補助金を交付し、各防犯関係団体と連携した防犯活動を展開する環境整備を行うとともに、防犯啓発キャンペーン等の事業を実施する。				
根拠法令・条例等	大磯町防犯協会事業費交付金交付要綱				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	231	222	228
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	231	222	228
	職員人数 (概算職員数)	人			0.06
	人件費計 (b)	千円			368
総事業費 (a)+(b)	千円	231	222	596	
事業費内訳 H 25 年度	旅費：3千円、消耗品費：5千円、大磯二宮地区暴力団排除対策推進協議会負担金：50千円、大磯町防犯協会交付金：170千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 団体数	団体	2	2	2
	② 全町民	人	33,529	33,322	33,263
活動指標 (活動量)	① 防犯事業実施回数	回	14	13	16
	②				
成果指標 (達成度等)	① 刑法犯認知件数	件	183	191	187
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	犯罪の少ない安全安心なまちづくり目指すにあたり防犯対策活動を広く展開するため、団体との連携が不可欠であり、団体運営には行政のバックアップが必要と考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	自主財源をもたない防犯関係団体と連携した防犯活動を広く展開するため、団体への補助を行うことが妥当と考える。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	各種町行事や地域における祭礼などにおける防犯パトロールの実施や店頭防犯啓発キャンペーンの実施など、犯罪抑制、防犯思想の高揚に一定の成果をあげている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	町からの補助等のほかには財源がなく、限られた予算内で効率的に啓発事業を実施しているが、より効率的な啓発方法の検討等を行う必要がある。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	町からの補助等のほかには財源がなく、限られた予算内で効率的に啓発事業を実施しているが、より効率的な啓発方法の検討等を行う必要がある。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 団体の防犯活動は一定の成果をあげているが、自主財源がないなかで、補助金をより効率的に利用するために啓発方法の検討する必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
「おれおれ詐欺」などの電話などによる非接触の犯罪も大磯地区では発生していることから、被害にあう前の啓発や広報活動を進める。また、自主防犯組織への継続的な活動支援を進める。
② 平成26年度に着手する事項
自主防犯組織や警察との連携により防犯活動に努める。
③ その他（課題、調整事項等）

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

防犯キャンペーン等の啓発活動、防犯団体や地域の自主防犯組織への支援を継続して行い、町内の防犯意識の高揚を図ることで犯罪抑制を図る。
---